目次

訳者序文……一
緒言（H・ティリング）……五
第一部　人間ボルツマン
その生涯……一五
愛国の精神……一九
学術講義……二五
美の愛好……三三
人間味……四〇
ユーモア……四四
素朴さ……四八
悲劇的な死……四九
第一部への原註……五三
第二部　物理学者ボルツマン

個人的な信条告白……一八八
第三部への原註……一九六
結びの言葉……一九九
「結び」への原註……二一〇
訳者追補
Ⅰ ボルツマン全著作年代表……二一三
Ⅱ ボルツマンの哲学思想と自殺の原因について（市井）……二三九
Ⅲ 気体運動論の歴史およびボルツマンにおける統計力学の形成について（恒藤）……二五五
事項索引……一
人名索引……四

古典物理学への態度……五九
原子論……六三
解析力学……七三
電磁気学……八二
物質の運動学的理論……九〇
統計力学……九六
確率とエントロピー……一〇〇
ゆらぎの現象と「熱の死」……一一〇
第二部への原註……一二一

第三部　哲学者ボルツマン

哲学に対する態度……一二七
理論の役割……一三七
直観的把握……一四六
思考法則……一五三
無内容な問題設定……一六三
外界の実在性……一六八
倫理学……一七七